

平成27年4月28日発行

米に関するメールマガジン（第14号）

平成25年秋に決定した米政策の見直しにおいては、生産者や集荷業者・団体の主体的な経営判断や販売戦略に基づき、需要に応じた米生産ができるよう環境整備を進めることとしており、平成26年3月から米の流通に係るよりきめ細かい需給・価格情報、販売進捗・在庫情報等の提供を行うこととしています。

平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等の状況について（平成27年3月）、米の出荷・販売業者、団体等から報告のあった内容を取りまとめ、本日公表しましたのでお知らせします。

★ 平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成27年3月） ★

（1）相対取引価格

平成27年3月の相対取引価格は、全銘柄平均価格で、11,943円/玄米60kg（対前月比▲0.8%）となっています。

（2）契約・販売状況

平成27年3月末現在の全国の集荷数量は342万トン、契約数量は263万トン、販売数量は143万トン、集荷数量に対する比率は、契約数量が77%、販売数量が42%となっています。

（3）民間在庫の推移

平成27年3月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階の計で284万トン（前年同月差▲7万トン）となっています。

（4）事前契約数量

全国の前年事前契約数量は、99万トン、集荷数量に対する比率は29%となっています。

（詳しくはこちら）

○「平成26年産米の相対取引価格・数量（平成27年3月）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2703_kakaku.pdf

○「平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成27年3月末現在）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2703_hanbai.pdf

○「民間在庫の推移（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2703_zaiko.pdf

○「産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成27年3月末現在）（速報）」

→ http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/pdf/2703_jizen.pdf

本資料及び過去の調査結果（相対取引価格）は、当省ホームページから御覧になれます。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

上記情報も含め、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を毎月上旬に公表しています。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

★ 平成27年度「米穀周年供給・需要拡大支援事業」の公募について ★

本事業は、産地の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備するため、主食用米を長期計画的に販売する取組、輸出向け・業務用向け等への販売促進等の取組又は非主食用への販売の取組を行うために必要な経費について、事業実施主体に補助する事業です。

本事業の申請は5月11日（月曜日）16時を締切としております。応募方法については、農林水産省HPに掲載しておりますので、御覧下さい。

→ <http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/150417.html>

★ 水稻収穫量調査におけるふるい目幅等の見直しについて ★

農林水産省は、水稻収穫量調査におけるふるい目幅及び玄米品位の取扱いについて見直しを行いました。見直しの主な内容は、ふるい目幅の取扱いについて、収穫量は従来どおりの1.70ミリ幅で把握しますが、作柄の良否を表す作況指数については、各農業地域において多くの農家等が実際の選別に使用しているふるい目幅を基準に算出します。また、水稻収穫量調査結果の公表時に、水稻作況基準筆（全国で約650筆設置）の刈取り試料を対象として、穀粒判別器を用いて計測した未熟粒、被害粒等の混入割合（玄米の品位）及び水稻作況標本筆（全国で約1万筆設置）の10a当たり収量の分布状況を参考情報として提供します。

（詳しくはこちら）

→ http://www.maff.go.jp/j/press/tokei/seiryu/150331_1.html

★ 「平成27年産水稻の10a当たり平年収量」について ★

水稻の10a当たり平年収量は、従来、全国統一の基準として1.70ミリのふるい目幅で選別された玄米を基に算出してきましたが、生産現場における米の生産・流通実態を踏まえ、平成27年産以降については、各農業地域において多くの農家等が使用しているふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85ミリ、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80ミリ、四国及び沖縄は1.75ミリ）で選別された玄米を基に算出するよう改善を図りました。新しい基準での平成27年産水稻の全国の10a当たり平年収量は、517kgとなりました。

（詳しくはこちら）

→ <http://www.maff.go.jp/j/press/tokei/seiryu/150331.html>

★ 食料・農業・農村政策審議会食糧部会議事録公表 ★

3月26日（木曜日）に開催された食料・農業・農村政策審議会食糧部会の議事録を公表しました。

→ <http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/index.html>

★ 平成27年産備蓄米の政府買入札について ★

平成27年産備蓄米の政府買入札について、第6回（平成27年4月21日実施）の結果を公表するとともに、第7回（平成27年5月19日実施予定）について公告しました。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kaiire/index.html>

★ 平成26年産米の農産物検査結果について ★

平成26年産米の農産物検査結果（3月31日現在）を公表しました。

→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/kome/index.html>

【米に関するメールマガジン】

発行：農林水産省生産局農産部農産企画課